

首相「おわび」記述



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2015年

戦後70年談話



戦後70年談話を発表する安倍首相=14日夕、首相官邸

侵略、植民地支配に言及

政府は14日午後の臨時閣議で、戦後70年の安倍晋三首相談話を閣議決定した。その後、首相は官邸で記者会見し、談話を発表した。談話は先の大戦をめぐる、歴代内閣が

近隣諸国への謝罪を続けてきた経過を紹介する形で「おわび」を記述。「歴代内閣の立場は、今後も揺るぎない」とした。「侵略」に言及した上で、国際紛争を解決する手段と

しての武力行使を否定。植民地支配との決別も宣言した。

談話は先の大戦に関する国内外の犠牲者について「深く頭を垂れ、痛惜の念を表すとともに、永劫の哀悼の誠をささげると表明した。同時に「わが国は痛切な反省と心からのおわびの気持ち

「植民地支配から永遠に決別し、全ての民族の自決の権利が尊重される世界にしなければならぬ」と言及した。併せて「戦場の陰には、深く名誉と尊厳を傷つけられた女性たちがいたことも忘れてはならない」と指摘した。

一方で「戦争に関わりのない世代に、謝罪を続ける宿命を背負わせてはならない」とも強調した。侵略をめぐる「いかなる武力の威嚇や行使も、国際紛争を解決する手段としては、もう二度と用いてはならない」と明記。

広島、長崎への原爆投下に触れ「唯一の戦争被爆国として、核兵器の不拡散と究極の廃絶を目指し、国際社会でその責任を果たしていく」と明言。同時に「積極的平和主義の旗を高く掲げ、世界の平和と繁栄にこれまで以上に貢献する」とした。

号外

購読申し込み
0120-13-1231
ホームページ
www.sakigake.jp
携帯サイト
m.sakigake.jp

詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。